



市民との対話集会（子育て編）

対話集会とは

「地域の課題は市民の声の中にある」との考えのもと、現場目線で施策を推進していくことや、多くの市民の方が市政やまちづくりを自分事として考え、行動する気運の醸成を図ることを目的として、市民と同じ目線に立ち、市政やまちづくりを語り合う場です。

～ 対話集会(子育て編) ～

- ◆日時 令和6年11月4日(祝)15:00～17:00
- ◆場所 中総合会館 4階ホール
- ◆参加者 7人(公募)+進行役2名(職員)+鴨田市長
傍聴者10人
- ◆テーマ 子育ての楽しさ、充実感
- ◆担当課 こどもまんなか室
(子育て応援課、こども家庭しあわせ課、乳幼児教育推進課)



◆主な意見

<子育ての楽しさ>

- ・こどもの成長の過程を見るのが楽しい
- ・「ひろば」などに出かけると、スタッフさんから「育児がんばってるね」とほめてもらえること
- ・自分の時間が減ってしまったが、主人が協力してくれる
(離乳食を作ってくれる。休日の日は、ゆっくり寝かせてくれる。仕事から早く帰ってきてくれる)
- ・週3回「あそびあむ」へ行って遊ぶことにしている。「子育てひろば」もよく利用させてもらっている
- ・外出していると、近所の年配の方が子どもに声を掛けてくれるのがうれしい
- ・育休も取得できる環境にあり、育休を取得して育児をした



<子育てで助けてほしいこと、助けてもらったこと>

- ・赤ちゃんの服や用品を取り扱う店がない。
→市内でも不要になった服・用品を譲ったりする場やイベントがあるので、それを利用している
- ・「子育てひろば」が土曜日にも利用できれば、ありがたい
- ・「子育てひろば」「ファミサポ」「産後ケア」のスタッフさん、近所の方にたくさん助けてもらっている
- ・ダブルケアをしている。介護の支援が子育ての支援につながる

<職場での働き方の環境について>

- ・民間では、男性の育休取得はありえない
- ・公務員は、以前と比べて取得しやすくなってきている。
- ・人口減少の中、自分たちで働きやすい環境を作っていく必要がある。

<こんな施策、取組みがあったらいいな>

- ・おむつの定期便みたいなのがあったらいいな
→サイズやメーカーがバラバラなので、統一されると使いづらい
→お店で買うとポイントが付くので、自分で買いたい。
- ・近くの公園には、乳児向けの遊具がないので、あったらいいな
- ・地域の高齢の方と子どもが触れ合う機会があればいいな



◆対話集会を終えて

今回の対話集会には、乳幼児の育児をされている母親 4 人、父親 3 人の計 7 人に参加していただきました。いずれの方も、自ら積極的に発言をしていただき、大変有意義な対話集会となりました。

皆さん、育児は大変であると実感しつつも、夫婦協力して、また地域の方々に声を掛けてもらい、助けてもらいながら、子育ての楽しさや幸せに感じることを語っていただきました。

子育てする環境(施設・人)は充実しているという声が多くありましたが、育児に係る経済的な負担軽減や身近な公園で乳幼児を遊ばせる環境の整備を求める意見もありました。

今後も、市民の皆さんの思い、声を聴かせていただく機会を持ちながら、子育て環境・支援の充実に努めていきます。

市長との対話集会

2024.11.4 @中経合会館

子育て編



1. 自己紹介

- 名前
- 子供の人数
- 年齢
- 話し合いは、聞きたいこと

育児の楽しさ

- 大変と共有したい
- どんな風に子育てを楽しんでる?
- どういうことで満足してる?
- 息抜き方法
- 市長の子育て方針
- 舞鶴の育児環境
- 男性の育児参加
- これからの舞鶴について考える

2. 子育ての楽しさ



4. 逆に助けてほしいことは?



5. こんなあたりいいな?



